

# 2010 年度 LET 関西支部秋季研究大会

2010 年 10 月 23 日(土)

近畿大学本部キャンパス

(近鉄大阪線 長瀬駅下車徒歩 15 分、八戸ノ里駅下車バス 5 分)

## **基調講演 15:35-17:05**

黒田 龍之助 先生 (フリーランス語学教師)

### カッコいい外国語



1964年 東京都生まれ。上智大学卒業後、東京大学大学院修了。  
東京工業大学助教授、明治大学助教授などを歴任。  
現在は「フリーランス」語学教師として、執筆と講演を中心に活動中。



『外国語の水曜日』(現代書館、2000)  
『はじめての言語学』(講談社現代新書、2004)  
『ぼくたちの英語』(三修社、2009)  
他多数

## **ワークショップ 10:40-12:10**

本大会では、LET 関西支部の 3 部会がそれぞれの研究成果を WS 形式で発表します。

### 1 英語発音教育研究会

有本 純 先生 (関西国際大学) ・ 山本 勝巳 先生 (流通科学大学)

**その発音どう治しますか？**

### 2 早期英語教育研究会

井狩 幸男 先生 (大阪市立大学大学院) ・ 多田 玲子 先生 (神戸親和女子大学)

河内山 真理 先生 (関西国際大学)

**小学校英語指導の Tips**

### 3 メソドロジー研究会 ※2010 年春に発足した新部会です

住 政二郎 先生 (流通科学大学)

**Mastering APA Style (6th ed.)**

## 基調講演：カッコいい英語

講師：黒田 龍之助（くろだ・りゅうのすけ）

要旨：外国語教師には「カッコよさ」が必要なのではないか。これまでの外国語教育では、話題にさえならなかったが、魅力的な授業を展開するためには、教師の「カッコよさ」も大切な要素である。講演では、人を惹きつけるテクニックとしての「カッコよさ」について考察する。

プロフィール：1964年東京都生まれ。上智大学卒業。東京大学大学院修了。東京工業大学助教授、明治大学助教授などを歴任し、ロシア語、英語、言語学を担当。現在は、専任を持たず且つ専攻言語のみにとらわれないという意味での「フリーランス」語学教師として、執筆と講演を中心に活動中。専門はスラブ語学、言語学。2001～2002年度NHKテレビ「ロシア語会話」、2008年度NHKラジオ「まいにちロシア語」講師。著書に『外国語の水曜日』、『その他の外国語』（現代書館）、『にぎやかな外国語の世界』（白水社）、『ポケットいっぱい外国語』（講談社）、『はじめての言語学』、『世界の言語入門』（講談社現代新書）、『語学はやり直せる！』（角川 one テーマ 21）、『ぼくたちの英語』（三修社）などがある。

## ワークショップ 1： その発音どう治しますか？（英語発音教育研究会）

講師：有本 純（ありもと・じゅん）、山本 勝巳（やまもと・かつみ）

要旨：英語の授業で発音指導をしても、なんらかの原因で通じない発音が生徒の口から出てくることが多い。本ワークショップでは、そのような発音にはどのような原因があるのか、またそれらをどう矯正するのかについて、生徒に分かりやすい説明の仕方の提案や、PC上で発音を可視化する方法を紹介しながら、参加者にも問題点の発見という作業と矯正指導の在り方を体験して戴く予定である。

プロフィール：【有本 純】神戸市外国語大学大学院修了（英語学専攻）。英国リーズ大学大学院留学（音声科学専攻）。現在、関西国際大学教授、英語科教育法・英語発音クリニックなどを担当。専門は英語音声学（音響と調音）、英語の音声指導。ジーニアス英和辞典・英和大辞典の発音担当。

【山本勝巳】神戸市外国語大学大学院修了（英語学専攻）。現在、流通科学大学商学部准教授。専門は実験音声学。

## ワークショップ 2： 小学校英語指導の Tips（早期英語教育研究会）

講師：井狩 幸男（いかり・ゆきお）、多田 玲子（ただ・れいこ）、河内山 真理（こうちやま・まり）

要旨：2011年度からの小学校での「外国語活動」の完全実施を直前に控えて、早期英語教育研究会が長年研鑽を積んできたものの中から、外国語活動への提案・高学年向けの具体的な指導例・発音を手がかりにした事例などについて紹介する。

プロフィール：【井狩 幸男】大阪市立大学大学院文学研究科教授。専門は心理言語学、神経言語学、応用言語学。

【多田 玲子】神戸親和女子大学非常勤講師。専門は児童英語教材研究、児童英語教授法。

【河内山 真理】関西国際大学英語教育学部准教授。専門は英語音声学、英語教育学。

## ワークショップ 3： Mastering APA Style (6<sup>th</sup> ed.)（メソドロジー研究会）

講師：住 政二郎（すみ・せいじろう）

要旨：APA Style が第6版に改訂された。LET学会機関誌の投稿規程も第6版に準拠して整備された。今後さらにこの動きは加速されることが予想される。では、実際に第5版と第6版では何が変わったのか？ どのような点に気を付けなければならないのか？ 本ワークショップでは、そうした疑問に答えるために、レジュメ作成や論文執筆に必要なとされる基本項目に絞って解説する。

プロフィール：1975年東京生まれ。関西大学大学院外国語教育学研究科博士課程後期課程修了。博士（外国語教育学）。流通科学大学商学部専任講師。各種ウェブベーステクノロジーを使った授業アーキテクチャーの開発に関心を持つ。最近では、アクセス解析とネットワーク分析を応用した学習行動分析に取り組む。APA好き。